



笹小だより

No. 7

令和元年10月31日
横浜市立笹野台小学校

「語先後礼」で「あいさつ名人」に…

副校長 山中 卓

後期の学習がスタートしました。子どもたちは、新たな目標をもって学習に取り組んでいます。

後期は、遠足や校外学習、講師を招いての出前授業等、子どもたちにとって、新しい体験ができる楽しい学習活動が行われます。11月は、4年生の区音楽会や宿泊体験学習、5年生の出前授業や区球技大会、個別支援級の宿泊体験学習があります。

そして今、子どもたちは、スクールコンサートの発表に向けて頑張っているところです。合唱クラブやPTA コーラスの活動も含めて、学校全体が音楽に取り組んでいる姿を見て、素敵だなと感じます。保護者の皆様も、家で練習していたお子さんの姿や、お子さんから聞いた学校での練習の様子を思い浮かべながら、鑑賞していただければと思います。

さて、先日の朝会で、こんな話をしました。

みなさんは、あいさつをどのように行っていますか？

普段のあいさつを見ると、お辞儀をしながら話す人を多く見かけます。要するに、下を向きながら話をしているということになります。

あいさつとは、人との出会いの中で、最初の部分です。そして、第一印象が決まる最も重要な場面です。私が大切にしているのは、あいさつするときの「かたち」です。

例えば、頭を下げながら言葉を発する「同時礼」では、せっかく発した言葉が床の方へ向かい、聞き取りにくくなってしまいます。

それを「語先後礼（ごせんごれい）」という方法で行うとどうなるでしょう。

「言葉が先で、お辞儀が後」という意味です。あいさつの基本となっています。

まずは、相手の目を見ながら「おはようございます」と伝え、その後に頭を下げます。こうすれば、言葉が床の方へ向かってしまうことなく、しっかり相手に伝わるので、より丁寧なあいさつになります。

「語先後礼」で、「あいさつ名人」になろう！！

それからは、私と目を合わせ、あいさつをした後にお辞儀をする子どもが増えてきました。話をしっかりと聞き、よいことはすぐに実行できる、これこそが笹野台小の子どもたちの良さです。さらに、素敵な子どもたちに育つよう温かいご支援をお願いします。

早いもので、今年も残すところ2ヶ月となりました。寒くなり、空気が乾燥してくると風邪やインフルエンザ、感染性胃腸炎などの感染症が流行し始めます。学校でも指導いたしますが、ご家庭でも手洗いやうがい励行についてお声かけいただければ幸いです。また、体調がすぐれないときには、無理せずしっかり体調が回復してから登校させるようお願いいたします。